

# 参考資料

# 県内二次医療圏別(市町村別)の人口推計について

(出典)国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別  
将来推計人口(平成25年3月推計)』

総人口

自治体名、圏域名	総人口(人)							平成22(2010)年の総人口を100としたときの総人口の指数						
	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
① 和歌山市	370,364	360,114	347,197	331,996	315,530	298,384	281,192	100.0	97.2	93.7	89.6	85.2	80.6	75.9
② 海南市	54,783	51,560	48,306	44,967	41,661	38,391	35,232	100.0	94.1	88.2	82.1	76.0	70.1	64.3
③ 紀美野町	10,391	9,326	8,356	7,435	6,593	5,801	5,057	100.0	89.8	80.4	71.6	63.4	55.8	48.7
和歌山 二次医療圏(小計)	435,538	421,000	403,859	384,398	363,784	342,576	321,481	100.0	96.7	92.7	88.3	83.5	78.7	73.8
④ 紀の川市	65,840	63,245	60,410	57,358	54,186	50,908	47,549	100.0	96.1	91.8	87.1	82.3	77.3	72.2
⑤ 岩出市	52,882	53,614	53,637	53,164	52,375	51,283	49,932	100.0	101.4	101.4	100.5	99.0	97.0	94.4
那賀 二次医療圏(小計)	118,722	116,859	114,047	110,522	106,561	102,191	97,481	100.0	98.4	96.1	93.1	89.8	86.1	82.1
⑥ 橋本市	66,361	63,877	61,210	58,205	54,982	51,566	47,992	100.0	96.3	92.2	87.7	82.9	77.7	72.3
⑦ かつらぎ町	18,230	16,836	15,547	14,246	12,992	11,787	10,642	100.0	92.4	85.3	78.1	71.3	64.7	58.4
⑧ 九度山町	4,963	4,479	4,051	3,645	3,256	2,890	2,553	100.0	90.2	81.6	73.4	65.6	58.2	51.4
⑨ 高野町	3,975	3,527	3,161	2,812	2,505	2,218	1,965	100.0	88.7	79.5	70.7	63.0	55.8	49.4
橋本 二次医療圏(小計)	93,529	88,719	83,969	78,908	73,735	68,461	63,152	100.0	94.9	89.8	84.4	78.8	73.2	67.5
⑩ 有田市	30,592	28,908	27,268	25,519	23,759	21,988	20,232	100.0	94.5	89.1	83.4	77.7	71.9	66.1
⑪ 湯浅町	13,210	12,080	11,110	10,149	9,197	8,268	7,382	100.0	91.4	84.1	76.8	69.6	62.6	55.9
⑫ 広川町	7,714	7,359	7,002	6,626	6,234	5,841	5,445	100.0	95.4	90.8	85.9	80.8	75.7	70.6
⑬ 有田川町	27,162	25,755	24,346	22,923	21,559	20,252	18,965	100.0	94.8	89.6	84.4	79.4	74.6	69.8
有田 二次医療圏(小計)	78,678	74,102	69,726	65,217	60,749	56,349	52,024	100.0	94.2	88.6	82.9	77.2	71.6	66.1
⑭ 御坊市	26,111	24,998	23,889	22,716	21,551	20,376	19,202	100.0	95.7	91.5	87.0	82.5	78.0	73.5
⑮ 美浜町	8,077	7,629	7,171	6,721	6,274	5,827	5,397	100.0	94.5	88.8	83.2	77.7	72.1	66.8
⑯ 日高町	7,432	7,372	7,205	7,011	6,808	6,590	6,370	100.0	99.2	96.9	94.3	91.6	88.7	85.7
⑰ 由良町	6,508	5,912	5,394	4,890	4,406	3,938	3,494	100.0	90.8	82.9	75.1	67.7	60.5	53.7
⑱ 印南町	8,606	8,046	7,520	6,982	6,462	5,959	5,472	100.0	93.5	87.4	81.1	75.1	69.2	63.6
⑲ 日高川町	10,509	9,823	9,170	8,541	7,960	7,412	6,880	100.0	93.5	87.3	81.3	75.7	70.5	65.5
御坊 二次医療圏(小計)	67,243	63,780	60,349	56,861	53,461	50,102	46,815	100.0	94.9	89.7	84.6	79.5	74.5	69.6
⑳ 田辺市	79,119	75,510	71,810	67,863	63,855	59,846	55,893	100.0	95.4	90.8	85.8	80.7	75.6	70.6
㉑ みなべ町	13,470	12,748	12,075	11,382	10,722	10,072	9,417	100.0	94.6	89.6	84.5	79.6	74.8	69.9
㉒ 白浜町	22,696	21,588	20,371	19,108	17,860	16,634	15,438	100.0	95.1	89.8	84.2	78.7	73.3	68.0
㉓ 上富田町	14,807	14,633	14,348	13,978	13,548	13,069	12,547	100.0	98.8	96.9	94.4	91.5	88.3	84.7
㉔ すさみ町	4,730	4,251	3,801	3,383	3,001	2,654	2,361	100.0	89.9	80.4	71.5	63.4	56.1	49.9
田辺 二次医療圏(小計)	134,822	128,730	122,405	115,714	108,986	102,275	95,656	100.0	95.5	90.8	85.8	80.8	75.9	70.9
㉕ 新宮市	31,498	29,371	27,391	25,376	23,393	21,472	19,633	100.0	93.2	87.0	80.6	74.3	68.2	62.3
㉖ 那智勝浦町	17,080	15,877	14,659	13,402	12,177	11,005	9,910	100.0	93.0	85.8	78.5	71.3	64.4	58.0
㉗ 太地町	3,250	2,979	2,710	2,447	2,204	1,981	1,769	100.0	91.7	83.4	75.3	67.8	61.0	54.4
㉘ 古座川町	3,103	2,791	2,483	2,207	1,956	1,742	1,542	100.0	89.9	80.0	71.1	63.0	56.1	49.7
㉙ 北山村	486	441	394	353	318	287	263	100.0	90.7	81.1	72.6	65.4	59.1	54.1
㉚ 串本町	18,249	16,729	15,246	13,777	12,356	10,987	9,701	100.0	91.7	83.5	75.5	67.7	60.2	53.2
新宮 二次医療圏(小計)	73,666	68,188	62,883	57,562	52,404	47,474	42,818	100.0	92.6	85.4	78.1	71.1	64.4	58.1
和歌山県 合計	1,002,198	961,378	917,238	869,182	819,680	769,428	719,427	100.0	95.9	91.5	86.7	81.8	76.8	71.8

# 県内各二次医療圏別の人口推計について(その2)

(出典) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別  
将来推計人口(平成25年3月推計)』

圏域名	総人口(人)		
	2010年	2025年	2040年
和歌山 二次医療圏	435,538	384,398	321,481
那賀 二次医療圏	118,722	110,522	97,481
橋本 二次医療圏	93,529	78,908	63,152
有田 二次医療圏	78,678	65,217	52,024
御坊 二次医療圏	67,243	56,861	46,815
田辺 二次医療圏	134,822	115,714	95,656
新宮 二次医療圏	73,666	57,562	42,818
<b>和歌山県 合計</b>	<b>1,002,198</b>	<b>869,182</b>	<b>719,427</b>
(参考) 全国の人口	128,057,352	120,658,816	107,275,851



65歳未満人口(人)			65歳以上人口(人)			75歳以上人口(人)		
2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年
318,817	255,526	197,369	116,721	128,872	124,112	57,002	79,401	72,476
92,264	76,691	61,340	26,458	33,831	36,141	13,022	19,415	21,036
68,360	49,713	36,882	25,169	29,195	26,270	12,895	17,143	16,781
56,450	41,348	30,346	22,228	23,869	21,678	12,116	14,405	13,639
47,880	36,563	28,104	19,363	20,298	18,711	10,763	12,025	11,536
96,250	74,149	56,019	38,572	41,565	39,637	20,799	25,232	24,489
47,984	32,286	22,499	25,682	25,276	20,319	14,183	16,114	13,291
<b>728,005</b>	<b>566,276</b>	<b>432,559</b>	<b>274,193</b>	<b>302,906</b>	<b>286,868</b>	<b>140,780</b>	<b>183,735</b>	<b>173,248</b>
98,577,343	84,085,329	68,597,749	29,480,009	36,573,487	38,678,102	14,193,622	21,785,638	22,229,933

下表は、平成22年(2010年)の人口を100とした場合の各年の指数

圏域名	総人口(指数)		
	2010年	2025年	2040年
和歌山 二次医療圏	100.0	88.3	73.8
那賀 二次医療圏	100.0	93.1	82.1
橋本 二次医療圏	100.0	84.4	67.5
有田 二次医療圏	100.0	82.9	66.1
御坊 二次医療圏	100.0	84.6	69.6
田辺 二次医療圏	100.0	85.8	70.9
新宮 二次医療圏	100.0	78.1	58.1
<b>和歌山県 合計</b>	<b>100.0</b>	<b>86.7</b>	<b>71.8</b>
(参考) 全国の人口	100.0	94.2	83.8

65歳未満人口(指数)			65歳以上人口(指数)			75歳以上(指数)		
2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年	2010年	2025年	2040年
100.0	80.1	61.9	100.0	110.4	106.3	100.0	139.3	127.1
100.0	83.1	66.5	100.0	127.9	136.6	100.0	149.1	161.5
100.0	72.7	54.0	100.0	116.0	104.4	100.0	132.9	130.1
100.0	73.2	53.8	100.0	107.4	97.5	100.0	118.9	112.6
100.0	76.4	58.7	100.0	104.8	96.6	100.0	111.7	107.2
100.0	77.0	58.2	100.0	107.8	102.8	100.0	121.3	117.7
100.0	67.3	46.9	100.0	98.4	79.1	100.0	113.6	93.7
<b>100.0</b>	<b>77.8</b>	<b>59.4</b>	<b>100.0</b>	<b>110.5</b>	<b>104.6</b>	<b>100.0</b>	<b>130.5</b>	<b>123.1</b>
100.0	85.3	69.6	100.0	124.1	131.2	100.0	153.5	156.6

# 二次医療圏毎の年齢別人口の推移(2010年,2025年,2040年)

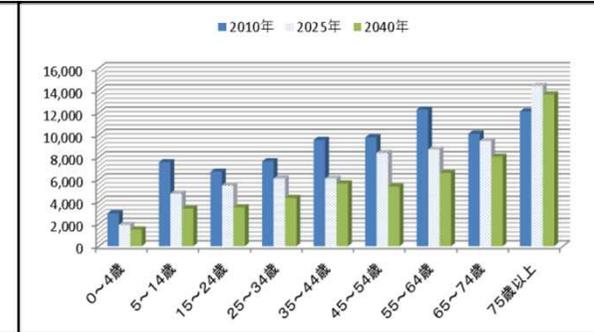
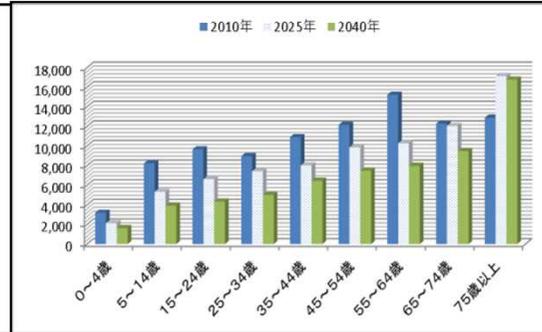
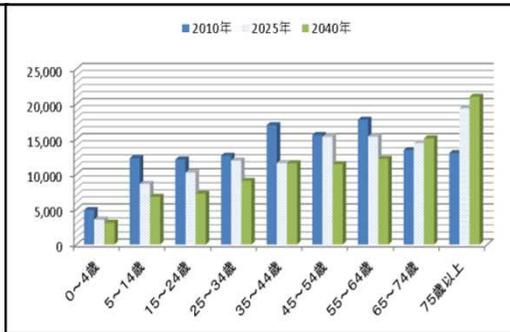
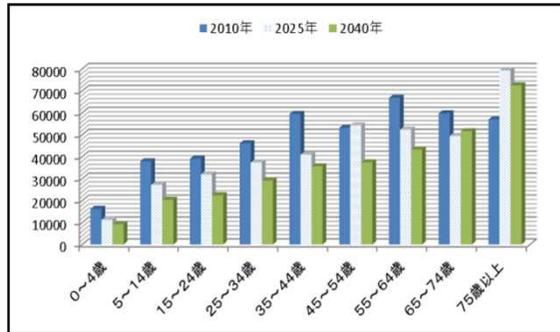
人口問題研究所

### 和歌山医療圏

### 那賀医療圏

### 橋本医療圏

### 有田医療圏

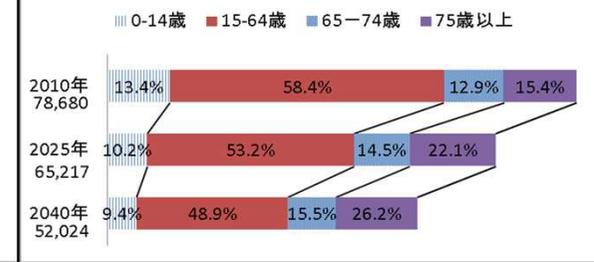
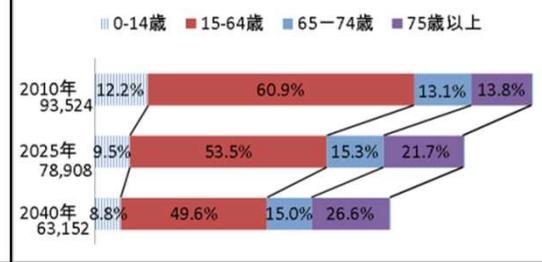
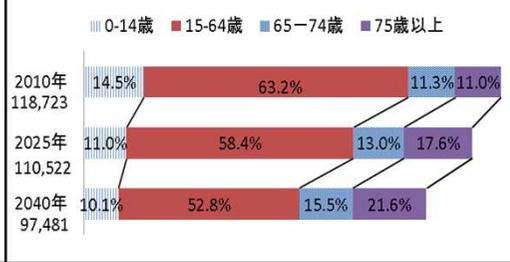
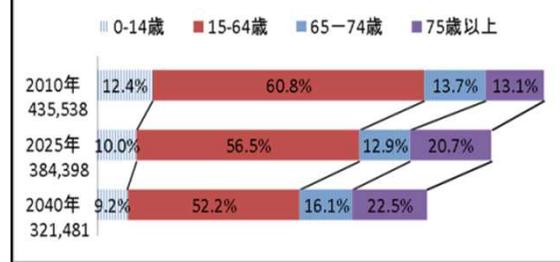


### 年齢別人口割合(和歌山)

### 年齢別人口割合(那賀)

### 年齢別人口割合(橋本)

### 年齢別人口割合(有田)

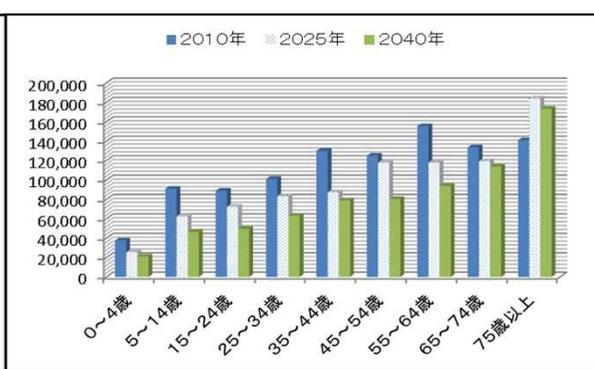
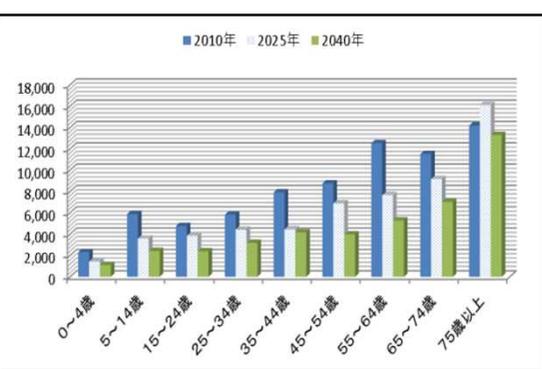
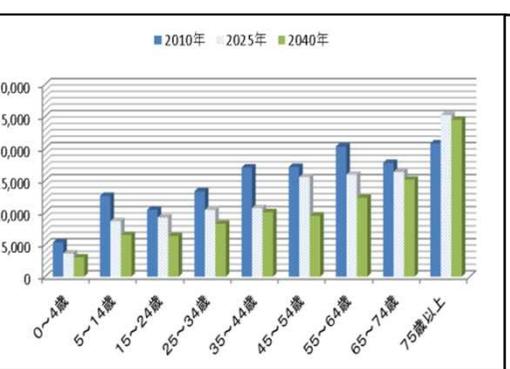
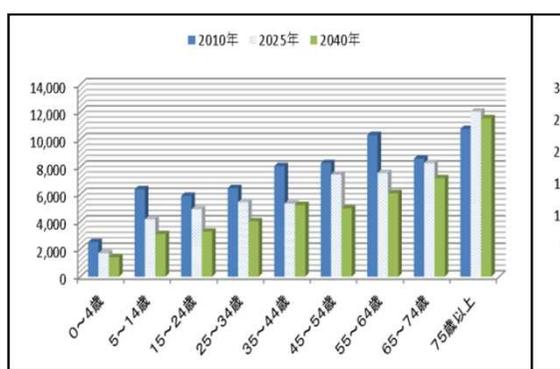


### 御坊医療圏

### 田辺医療圏

### 新宮医療圏

### 和歌山県全体

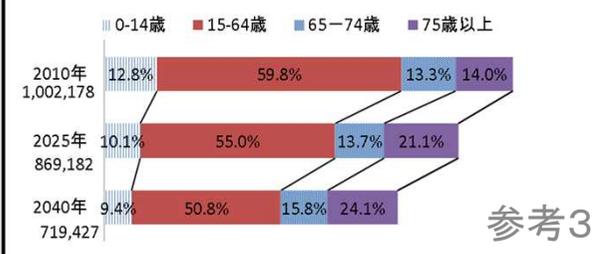
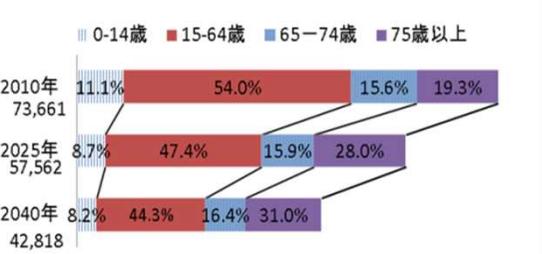
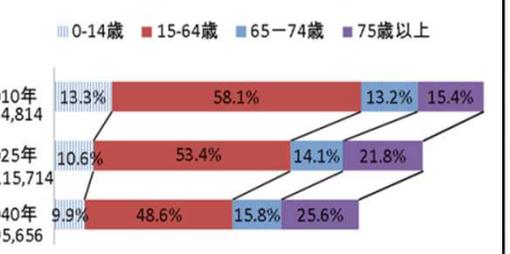
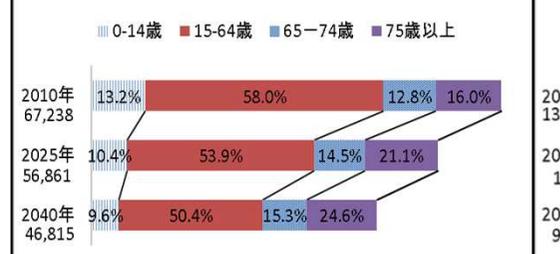


### 年齢別人口割合(御坊)

### 年齢別人口割合(田辺)

### 年齢別人口割合(新宮)

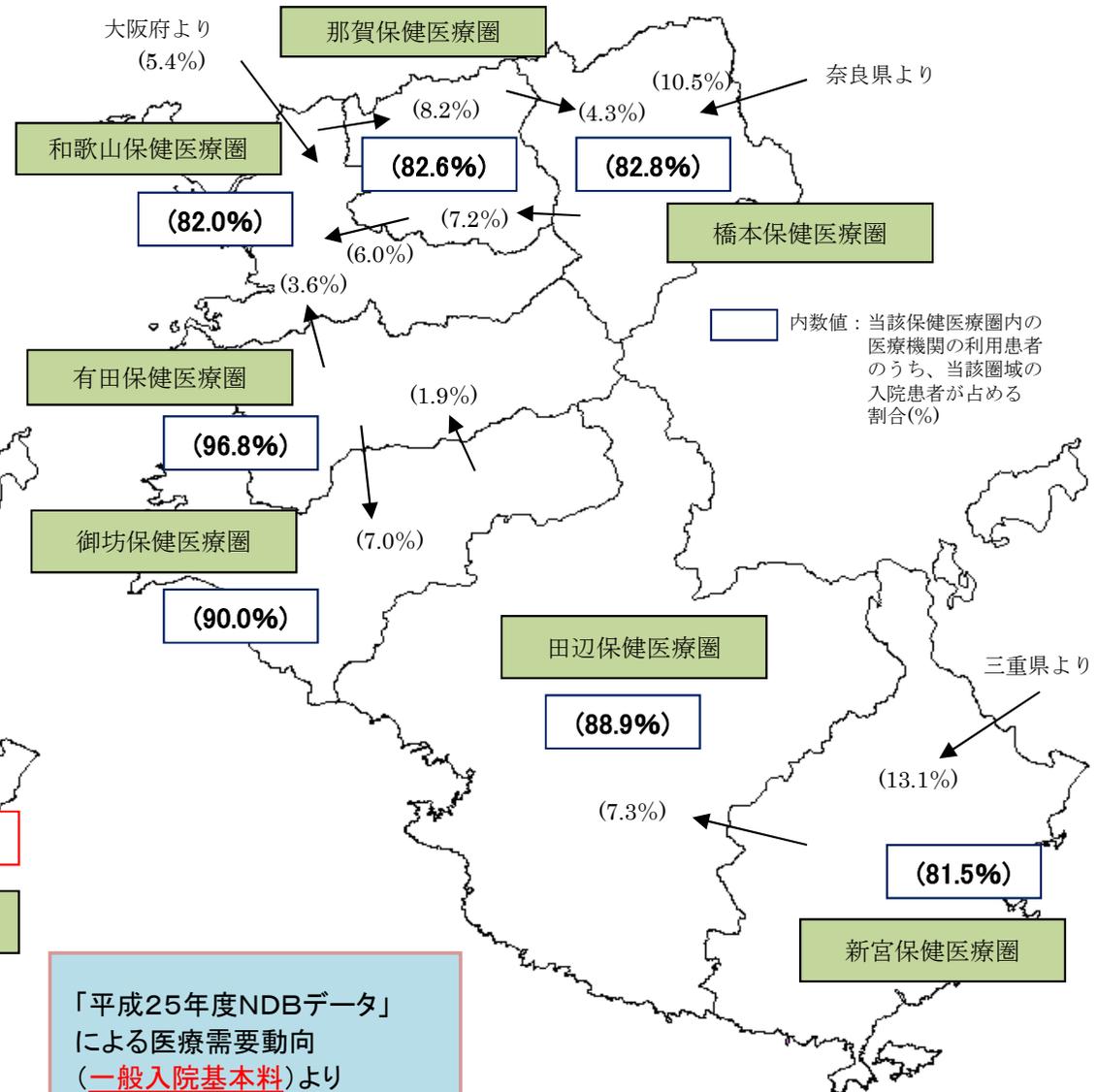
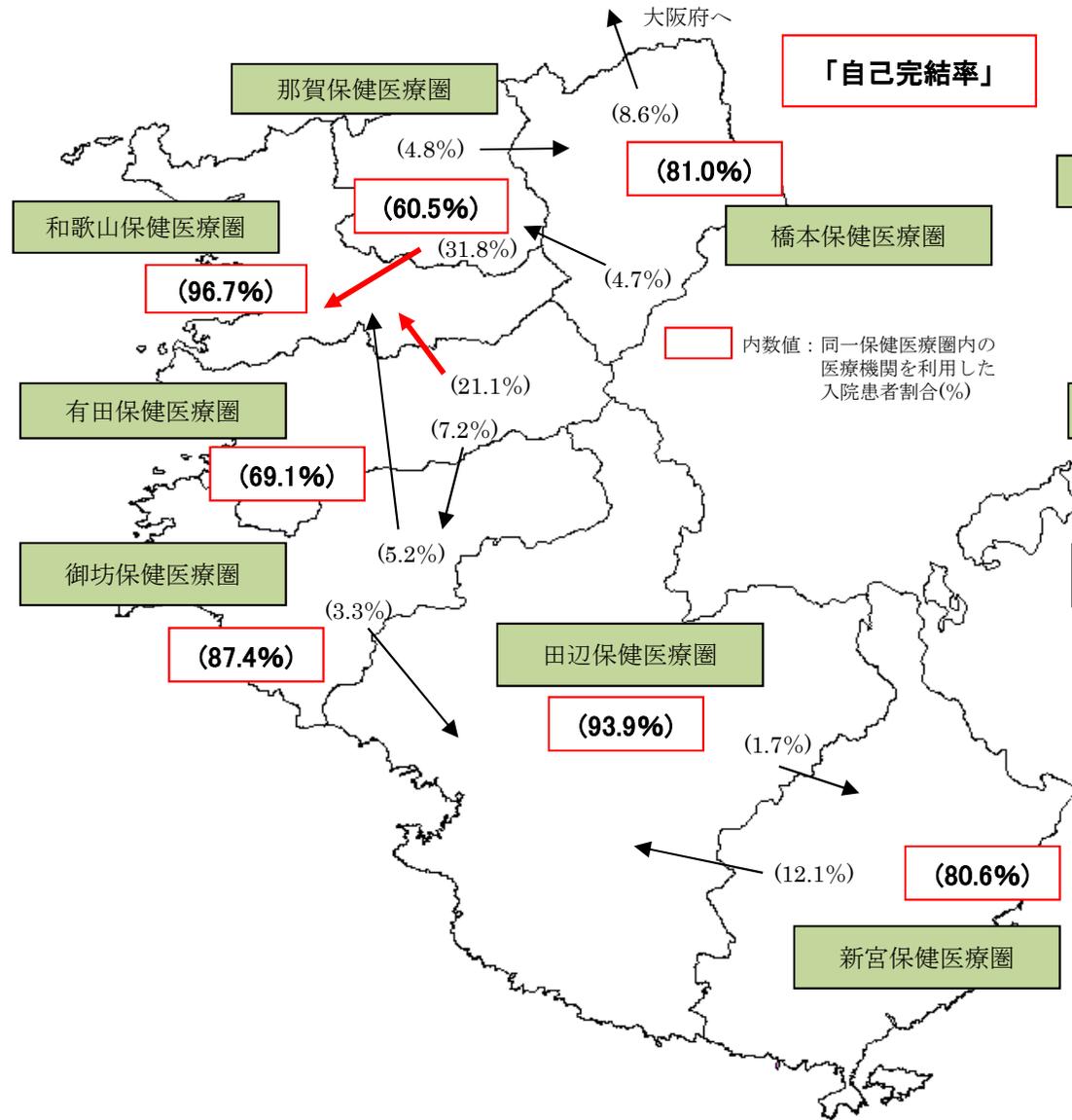
### 年齢別人口割合(県全体)



# 和歌山県における現状の患者流出入のすがた

## 患者流出のイメージ

## 患者流入のイメージ



「平成25年度NDBデータ」による医療需要動向  
(一般入院基本料)より

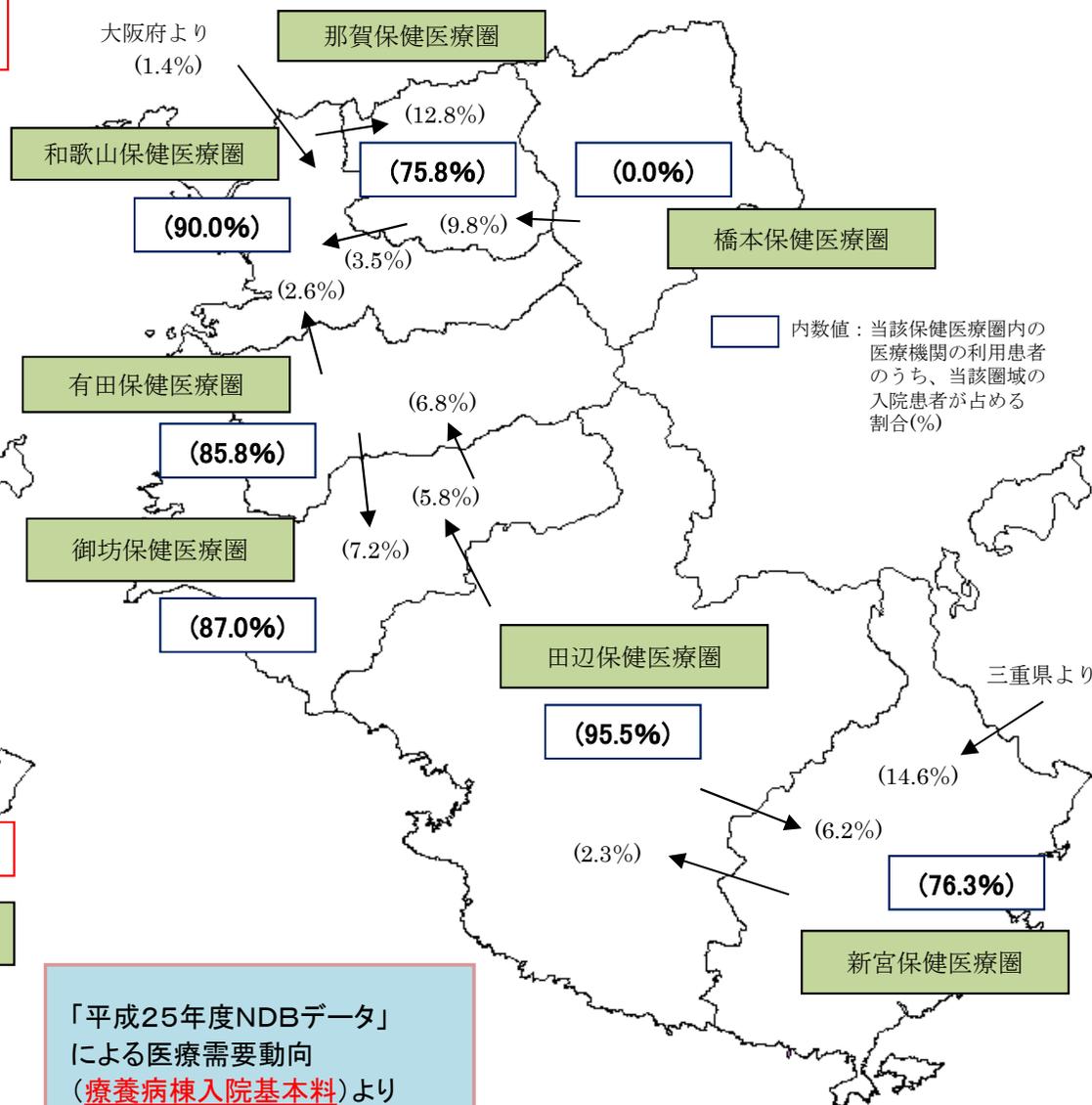
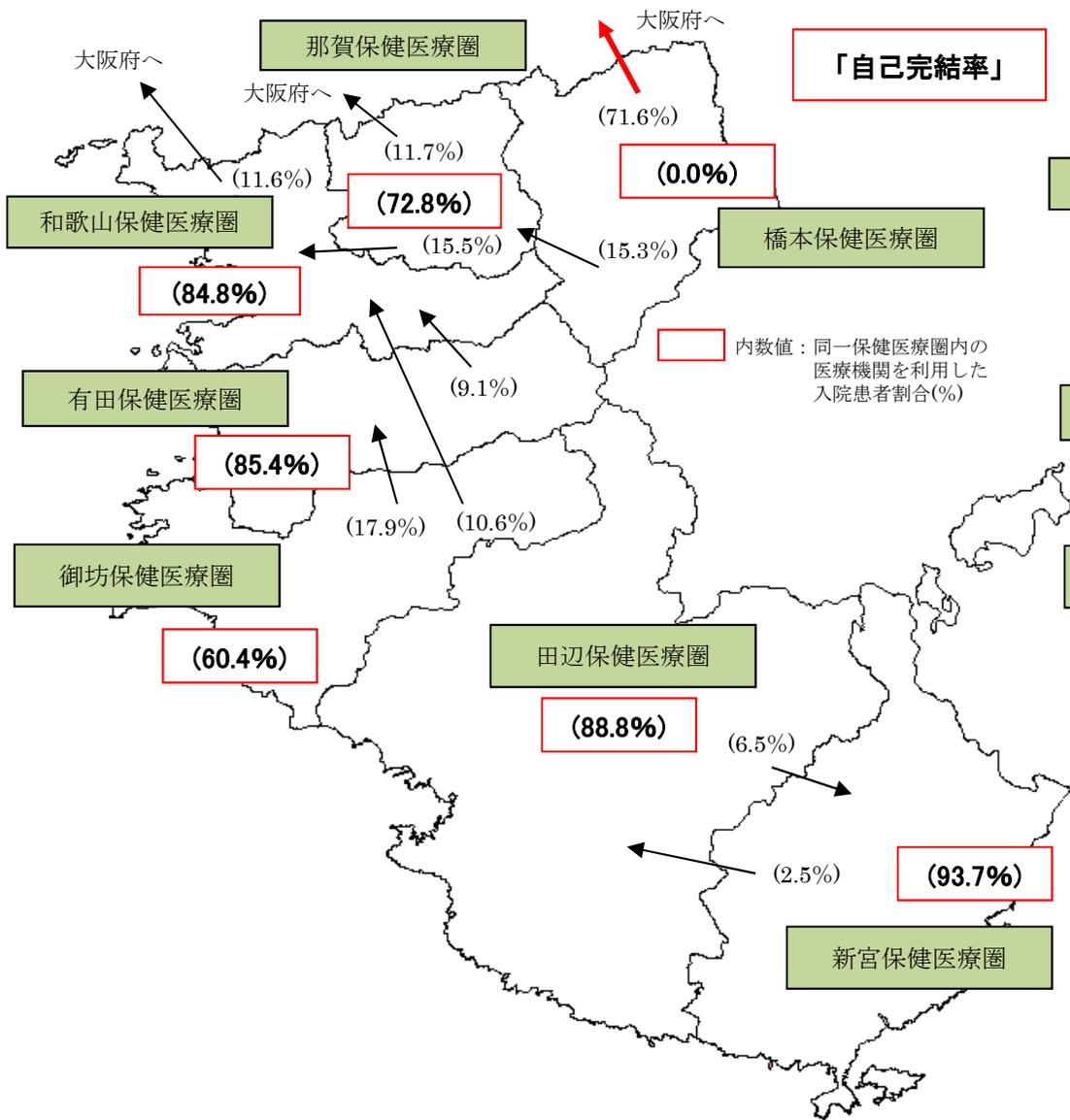
# 和歌山県における現状の患者流出入のすがた(2)

## 患者流出のイメージ

## 患者流入のイメージ

### 「自己完結率」

「平成25年度NDBデータ」  
による医療需要動向  
(療養病棟入院基本料)より



# 「地域医療構想」にかかる2025年の医療需要及び必要病床数の推計について

- (1) 地域医療構想の対象となる2025年の医療需要・必要病床数の推計にあたっては、厚生労働省令で定められた算式に、国が示す基礎データを代入して「①医療機関所在地ベース」及び「②患者住所地ベース」の2種類の推計を行う。（※全国一律の推計方法）
- (2) (1)により得られる医療需要(人)・必要病床数(床)に関して、各圏域における2025年の医療提供体制を医療機能ごとに検討。必要があれば、圏域間調整を実施。

【 都道府県の需要検討 】

- ・慢性期パターンの選択（ただし、特例パターンは国と要協議）
- ・県内圏域間の流出入調整（ただし、県の総医療需要の枠内で）

- (3) 医療需要に対する医療供給を踏まえた必要病床数は、当該圏域で対応することとなる医療需要(患者人数)を、医療機能別の病床稼働率で割り戻して算出する。(下記)

「圏域ごと」「医療機能ごと」に推計

医療機能	2025年の医療需要
高度急性期機能	〇〇〇〇人/日
急性期機能	□□□□人/日
回復期機能	△△△△人/日
慢性期機能	▲▲▲▲人/日

医療需要は、「医療資源投入量」より推計  
(例えば、急性期では600~3,000点部分の患者数を推計)

病床稼働率で割り戻して、病床数に変換

【病床稼働率】

- ①高度急性期: 75%
- ②急性期: 78%
- ③回復期: 90%
- ④慢性期: 92%

2025年の病床数の必要量

〇〇〇〇床
□□□□床
△△△△床
▲▲▲▲床

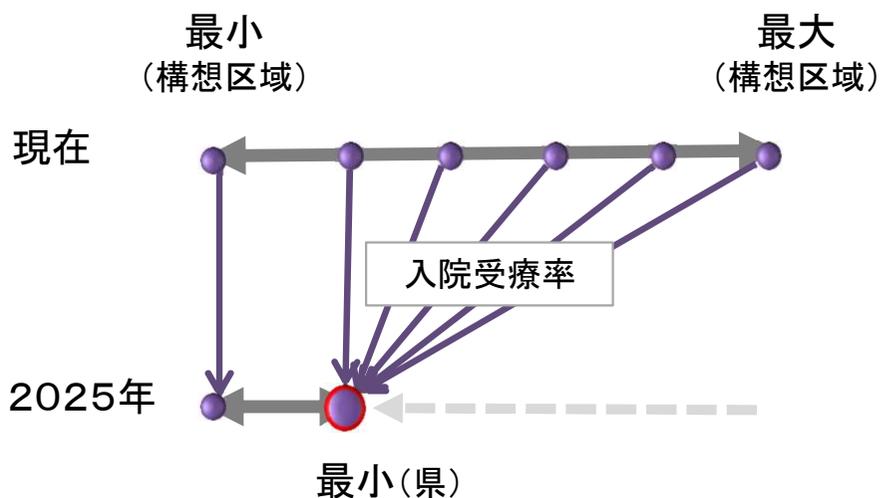
# 地域の実情に応じた慢性期病床の推計方法について

- 地域が、療養病床の患者を、どの程度、慢性期機能の病床で対応するか、在宅医療・介護施設で対応するかについて、目標を定めることとして、患者数を推計する。
- その際、現在、療養病床の入院受療率に地域差があることを踏まえ、この地域差を一定の目標まで縮小していくこととする。  
(注) 療養病床については、現在、報酬が包括算定であるので、行われた診療行為が分からず、医療資源投入量に基づく分析ができない。
- また、介護施設や高齢者住宅を含めた受け皿となる医療・介護等での対応が着実に進められるよう、一定の要件に該当する地域については配慮を行う。(特例)

## 【入院受療率の地域差の解消目標の設定】

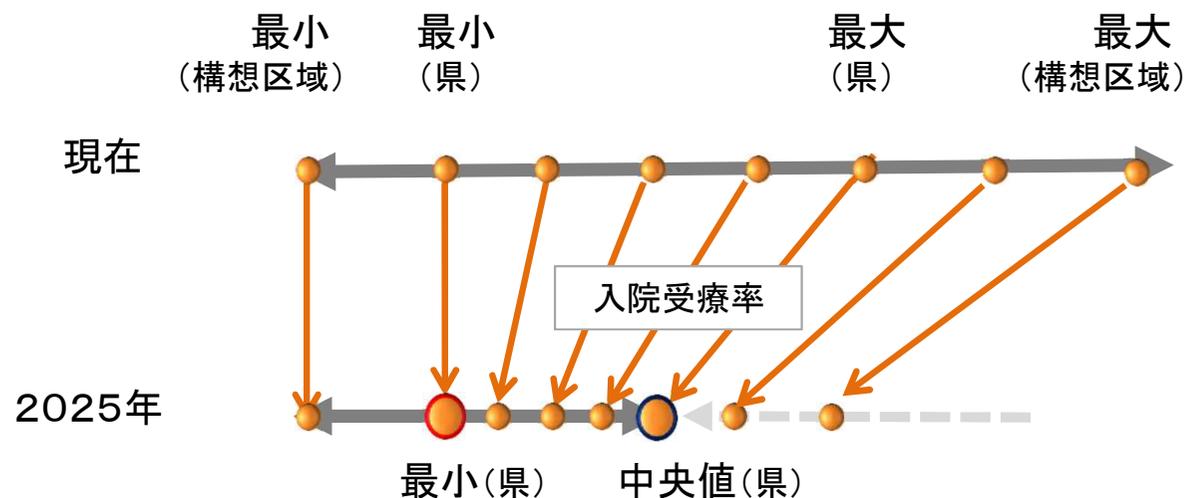
パターンA

全ての構想区域が  
全国最小値(県単位)まで  
入院受療率を低下する。



パターンB

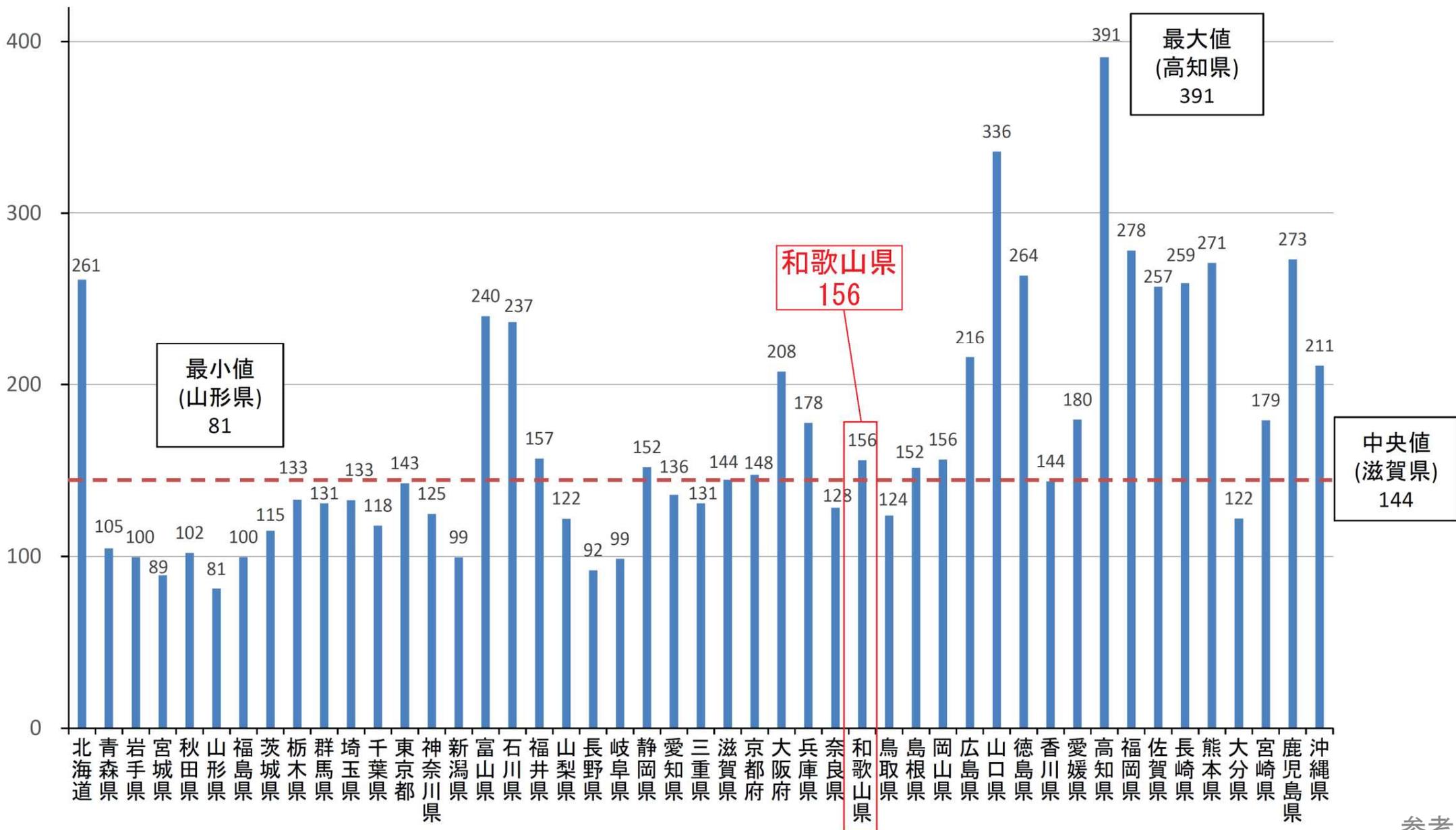
構想区域ごとに入院受療率と全国最小値(県単位)  
との差を一定割合\*縮小する。  
※ 全国最大値(県単位)が全国中央値(県単位)  
にまで低下する割合



※ただし、受療率が全国最小値(県単位)未満の構想区域については、平成25年(2013年)の受療率を用いて推計することとする。

# 療養病床の都道府県別入院受療率(医療区分1の70%相当の患者数等を除く※) (平成25年)

※ 医療区分1の患者の70%に相当する者及び回復期リハビリテーション病棟入院料を算定する者を除き、性・年齢構成の影響を補正した都道府県別の入院受療率(人口10万当たりの入院患者数、患者住所地ベース)



# 地域の実情に配慮した慢性期病床の推計の特例について

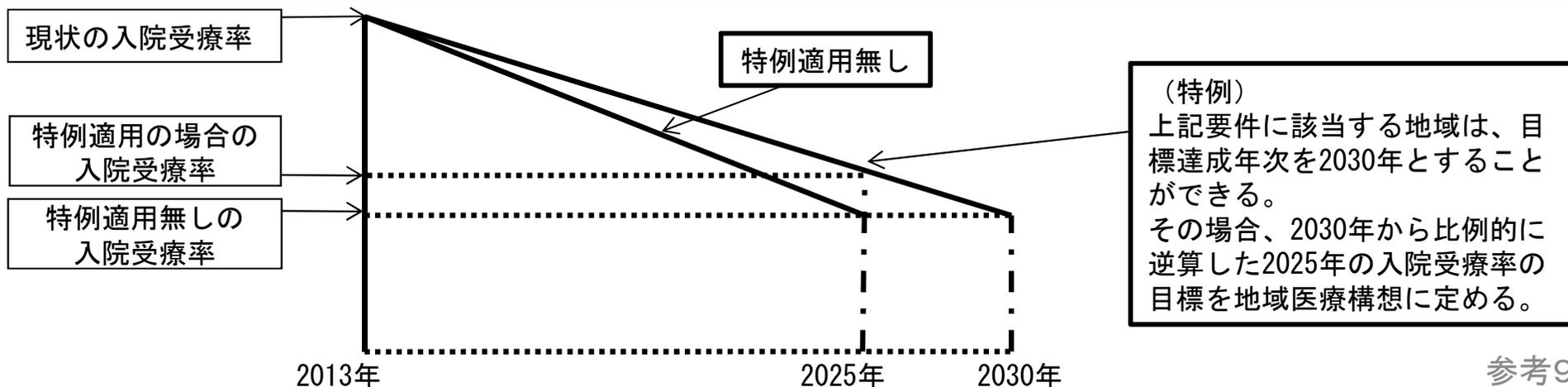
「特例要件」について：一定の地域は2030年（平成42年）に目標達成を延長可能

以下の要件に該当する地域は、その目標達成年次を2025年から2030年とすることができる。その際、2025年においては、2030年から比例的に逆算した入院受療率を目標とする。

【要件】 以下の①かつ②に該当する地域（二次保健医療圏）

- ① 当該地域の慢性期病床の減少率が、全国中央値（32.2%）よりも大きい。
- ② 当該地域の高齢者単身世帯割合が全国平均値（9.2%）よりも大きい。

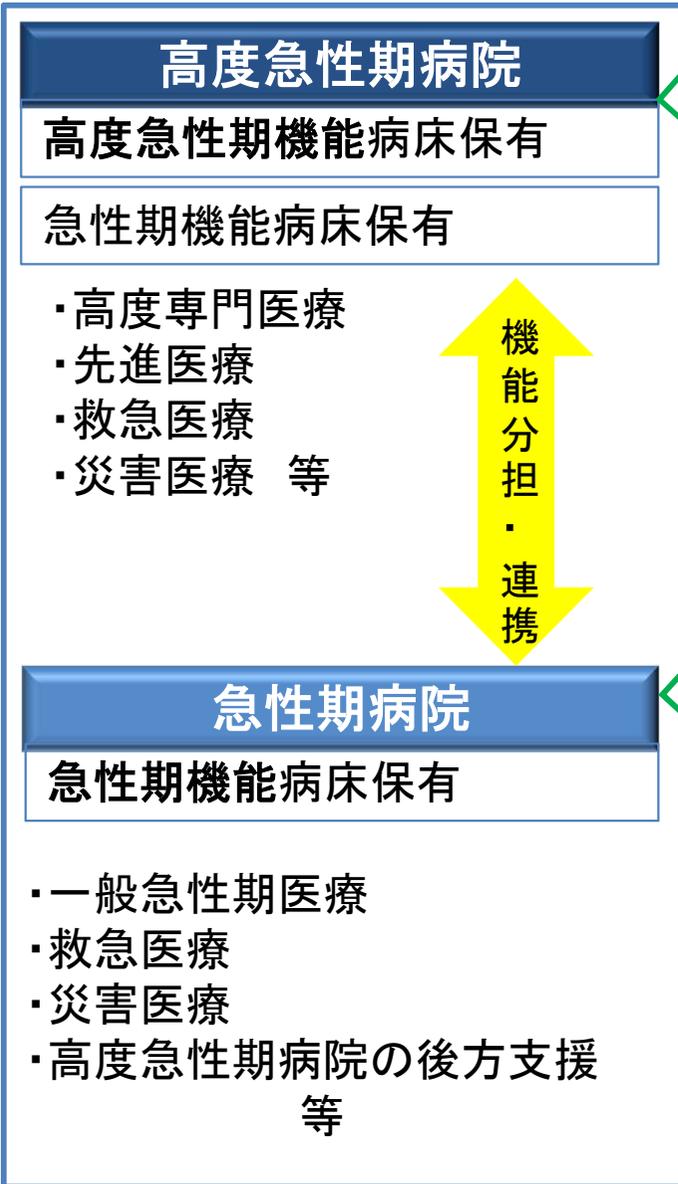
二次医療圏	慢性期の入院受療率（人口10万人あたり）	要件①		要件②		「特例」選択可否 （要件①②ともに該当）
		慢性期病床の減少率	要件①に該当	高齢者単身世帯割合	要件②に該当	
和歌山	169	28.2%		12.6%	○	
那賀	168	21.9%		8.3%		
橋本	105	5.6%		11.4%	○	
有田	185	40.2%	○	12.0%	○	○
御坊	83	- %		13.0%	○	
田辺	174	36.8%	○	14.0%	○	○
新宮	143	32.4%	○	19.5%	○	○



# 地域医療構想における主な患者の流れとその受け皿（イメージ図）

※今回の地域医療構想は病床機能の再編であり、高度急性期病院等の病院の指定はないが、機能別に区分するために以下のように表記。  
また、各病院では、それぞれ主たる病床機能以外に他の病床機能を複合的に保有しうる。

## 【治す医療】



## 【支える医療】

